

《第47号》令和7年3月20日発行



管路維持

一般社団法人 滋賀県下水道管路維持協会

520-2141 滋賀県大津市大江2丁目1-8

TEL: 077-547-2090 FAX: 077-547-2089

mail: info@shiga-gesui.or.jp

ごあいさつ

一般社団法人滋賀県下水道管路維持協会

会長 清水 重郎

皆様方には、日頃より当協会の運営、事業活動に特段のご理解、ご協力を頂き厚く御礼申し上げます。

今年の1月28日に埼玉県八潮市の県道で道路が陥没しトラックが穴に転落するという大惨事が発生し、報道機関が連日大きく取り上げました。陥没の大きな原因は、地下10メートル下に埋設されていた鉄筋コンクリート製の下水道管が、内部で発生した硫化水素により腐食し、穴が開きそこから土砂が落ちて大きな空洞ができたことによるとされています。これにより関連する12市町に下水道の使用制限が要請され、人口120万人に影響がおよびました。直径4.5メートルの下水管は耐用年数約50年とされていますが、すでに42年経過しており、老朽化が懸念されていました。

日本の下水道が抱える大きな課題の1つに、施設の老朽化対策が挙げられています。下水道の管路の総延長は約49万キロメートル(2022年)に達し、50年を超えた管は約3万キロメートル(総延長の約7%)で、10年後には約9万キロメートル(約19%)に達すると言われています。下水道管の老朽化や破損を防ぐために最も重要なことは、点検・調査の強化と効率的な工事技術の活用であり、官民一体となって取り組むことが求められています。当協会といたしましても、こうした課題に積極的に取り組んでいきたいと考えております。

今後とも会員各位、賛助会員、関係各位におかれましては当協会の運営、活動への更なるご理解、ご協力を頂きますようお願い申し上げます。

ごあいさつ

一般社団法人滋賀県下水道管路維持協会 顧問

滋賀県議会議員 重田 剛

一般社団法人 滋賀県下水道管路維持協会員の皆様には、平素から滋賀県下水道行政に格別のご尽力を賜り厚く御礼申し上げます。

この冬は、とても暖かく本県においても雪も少なく、まるで春のような穏やかな日が続いております。一方で、琵琶湖の全層循環や夏の渇水も気になるところであります。

私は、今年度、滋賀県議会で環境・農水常任委員長を拝命し環境問題を中心に調査や議論を重ねて政策に取り組んでまいりました。全国の先進的に取り組んでおられる下水道関係施設にも、伺わせていただきました。改めて環境問題の重要性を知らされ、人類総がかりで取り組んでいく必要があると感じております。本県も琵琶湖版SDGs、マザーレイクゴールズ(MLGS)を掲げて、琵琶湖を対象に2030年の持続可能な社会の実現に向けて、環境と経済・社会活動をつなぐ健全な循環の構築を目指しているところです。

昨年、元日に発災しました能登半島地震でもわかるようにライフラインは重要であります。とりわけ、水とトイレは最重要であります。その、命をつなぐ根幹を担ってくださる当協会の皆様方には、感謝と敬意を衷心より申し上げます。健康に留意され引き続き県民・国民のためによりしくお願い致します。

本年も、皆様方にご指導ご鞭撻を賜りながら、共に学習してまいりたいと思いますので、よろしくお願い致します。

一般社団法人 滋賀県下水道管路維持協会におかれましては、日頃から滋賀県の下水道行政に格別のご理解とご協力を賜り、厚く御礼申し上げます。

滋賀県の下水道処理人口普及率は令和5年度末時点で93.0%に達しており、新たに整備するよりも日々の維持管理に係る業務の割合が多くなっております。特に管路については、延長が約8,400kmにも及んでおり、適切に維持管理するために多くの時間と労力を要しています。そんな中、令和7年1月に埼玉県八潮市で大規模な道路陥没事故が発生しました。下水道管の破損が原因ではないかと言われており、滋賀県内でも緊急点検が行われました。今回の点検では異常は確認されませんでしたが、県内には供用開始して50年以上が経過している管路もあり、今後も老朽化が一層進んでいくことが想定されています。下水道が生活に欠かせないインフラであることを改めて意識し、日頃の丁寧な点検と、計画的な改築・更新を進め、貴協会の協力もいただきながら、市町とともに施設の適切な維持に努めて参ります。

一方で、自治体職員数の減少も深刻な課題となってきております。職員の負荷を軽減するため、新しい官民連携方式である「ウォーターPPP」の導入についても検討が進んでおり、官民連携が一層重要になってきております。滋賀県内の管路を適切に維持できるよう、貴協会とも引き続き連携して参りたいと思います。

末筆ではございますが、貴協会の益々のご発展と会員の皆様のご活躍を祈念いたしまして、ご挨拶とさせていただきます。

令和6年度下水道管路施設の 維持管理に関する研修会

令和7年2月6日、草津市矢橋町の淡海環境プラザで「令和6年度（2024年度）下水道管路施設の維持管理に関する研修会」を滋賀県の後援のよって開催しました。

当日は、正会員・賛助会員をはじめ県・市町の関係職員ら約50人が参加。1月28日に埼玉県八潮市で発生した県道の陥没事故の原因が下水道管路の破損とみられることもあり、熱心な受講となりました。

同研修会は、県内の下水道の施設状態や施策・維持管理技術や安全管理について最新情報を学ぶことで、自治体関係者の業務遂行の一助となるよう、下水道に関する様々なテーマを取り上げ、協会事業として例年、主催しているもの。

今回は▽マンホール蓋のアセットマネジメントへ向けた取り組みと次世代型高品位グラウンドマンホ

ールS V（講師＝日之出水道機器㈱第2ライフラインマーケティンググループ：手島泰三マネージャー）▽ウォーターPPP事業における維持管理と更新の一体マネジメント（講師＝パシフィックコンサルタンツ㈱プロジェクトイノベーション事業本部：山中明彦技術理事、鶴田周作室長）一の2テーマの講演が行われました。

日之出水道機器㈱の講演では、下水道事業におけるマンホール蓋の将来課題（老朽化、設置環境の過酷化、災害リスクへの備えなど）や、マンホール蓋の健全度の将来推計（約30年後に早急対応が必要な蓋が70%超過など）を踏まえ、マンホール蓋のCAPDサイクル（下水道台帳システムへのマンホール蓋の施設情報の登録／マンホール蓋の改築事業のシナリオ設定〔管理区分設定〕／老朽化対策以外の事業でのマンホール蓋の改築）によるマネジメントや、次世代型マンホール蓋S Vの耐久性の進化を実現した技術イノベーションなどを紹介。

パシフィックコンサルタンツ㈱の講演では、ウォーターPPP事業における下水道の維持管理の新たな事業スキーム「官民連携」の構築が喫緊の課題であり、これまでの包括委託に対して、レベル3・5「管理・更新一体マネジメント方式」が提示され、特に更新支援型については、コンサルタントに更新計画案の策定が求められることになると展望。維持管理と更新の一体的なマネジメントとして、管路の包括的民間委託の業務に従事した経験の中から具体的な進め方の事例を紹介、さらに今後の課題として、性能規定への導入に関して提案された。



研修会の模様

会員だより

近江美研 株式会社 近江美研

株式会社近江美研は野州市に拠点を置き、昭和54年の創業以来約半世紀に亘って地域環境保全事業に取り組んでいます。

「環境事業を通じた、感謝の循環」をスローガンに、エッセンシャルワーカーとして公衆衛生の確保に努め、業務を通じてお客様に感動していただける仕事を追及していきます。

管路調査・更生工事

下水道管の腐食、老朽化が原因による陥没事故が毎年発生しています。滋賀県の下水道普及率は非常に高く、持続的な機能確保、県民の公衆衛生確保の観点からも迅速に管路調査を行い、老朽化が著しい管路を管路更生工事により改築を行います。



施工前



ライナー引込み



取付管穿孔仕上



更生施工後

一般廃棄物収集運搬

安全かつ確実に遂行し公共衛生を確保、運搬に適した車両によって環境保全に寄与し地域住民の生活を支えます。

産業廃棄物処理

廃棄物は再利用・再資源化が当たり前の時代となり、廃棄物処理は10年20年先を見据えた地球規模で考える時代へと変化しています。

私たちは脱炭素社会の実現に向けた取組を進めています。



破碎機



破碎後



圧縮機



圧縮後

機密文書出張裁断

「保存期間が過ぎた社内に溜まる機密文書を迅速かつ確実に処理したい。」そんなニーズにお客様の目の前で裁断を行う出張裁断サービスが力強くお答えします。

正 会 員	株 式 会 社 近 江 美 研	滋 賀 県 野 洲 市 六 条 8 1 8 TEL:077-598-6990 FAX:077-598-6989
	株 式 会 社 日 映 今 津	滋 賀 県 高 島 市 今 津 町 大 供 688-1 TEL:0740-22-2787 FAX:0740-22-1608
	東山管理センター株式会社滋賀支店	滋 賀 県 大 津 市 大 江 2-2087-1 TEL:077-543-1620 FAX:075-501-5133
	株 式 会 社 日 吉	滋 賀 県 近 江 八 幡 市 北 之 庄 町 908 TEL:0748-32-5555 FAX:0748-32-3636
	株 式 会 社 ヒ ロ セ	滋 賀 県 蒲 生 郡 日 野 町 松 尾 960-1 TEL:0748-52-0943 FAX:0748-52-1843
	栗 東 総 合 産 業 株 式 会 社	滋 賀 県 栗 東 市 十 里 2 4 4 TEL:077-552-1711 FAX:077-553-4710

賛 助 会 員	エスジーシー下水道センター株式会社	東京都新宿区三栄町19 大久保ビル2F TEL:03-3355-3951 FAX:03-3355-3796
	エムアイディ株式会社	京都市山科区東野中井ノ上町13-17 警備保障MIDビル5F TEL:075-502-3300 FAX:075-502-0888
	管清工業株式会社大阪支店	大 阪 市 城 東 区 成 育 1-6-26 TEL:06-6934-2361 FAX:06-6934-2369
	株 式 会 社 カ ン ツ ー ル	東京都千代田区神田錦町2-11-7 小川ビル3F TEL:03-5282-5031 FAX:03-3292-5529
	株 式 会 社 キ ュ ー ・ ア イ	横 浜 市 金 沢 区 福 浦 2-4-7 TEL:045-790-3206 FAX:045-701-1066
	株 式 会 社 島 田 商 会	大 阪 市 中 央 区 安 土 町 3-5-6 TEL:06-6262-3511 FAX:06-6262-1180
	株 式 会 社 昭 建	滋 賀 県 大 津 市 浜 大 津 2-5-9 TEL:077-525-5131 FAX:077-528-2170
	株 式 会 社 住 吉 製 作 所	滋 賀 県 草 津 市 青 地 町 270-5 TEL:077-561-0810 FAX:077-561-0812
	東亞合成株式会社大阪支店	大阪市北区中ノ島3-3-3 中之島三井ビル11F TEL:06-6446-6568 FAX:06-6446-6573
	東 洋 建 設 株 式 会 社	滋 賀 県 大 津 市 馬 場 3-1-20 TEL:077-524-2772 FAX:077-524-7995
	パシフィックコンサルタンツ株式会社滋賀事務所	滋 賀 県 大 津 市 梅 林 1-4-1 TEL:077-510-0089 FAX:077-510-0090
	株 式 会 社 F I N D i	東 京 都 港 区 芝 浦 1-1-1 TEL:03-6324-4342 FAX:03-6324-4358
	ペ ン タ フ 株 式 会 社	大 阪 市 北 区 大 淀 中 1-7-10 TEL:06-6458-1231 FAX:06-6458-1221